

大阪教育大学 倫理審査のフローチャート

本学で人を対象とする研究を実施するにあたり、倫理審査が必要かどうかを判断するためのフローチャートです。以下を参考に、計画した研究が倫理審査を要するか否かの判断をしてください。

(注)このフローチャートは、大阪教育大学倫理委員会規程に基づき、倫理審査の要否を判断するためのものです。

なお、教職実践研究科の「実践課題研究倫理審査」とは別の手続きになります。
フローチャート上で「審査不要」と判断された場合でも、教職大学院で所定の審査を受けてください。

その研究で使用するデータは、倫理審査申請前に収集したデータもしくは、過去に研究した際のデータの再利用ですか？

Yes
⇒

倫理審査は、研究開始前に研究について審査を行うものです。
すでに開始している研究や審査申請前に収集したデータを利用している研究については審査対象外です。

No ↓

その研究は、**人を対象とする生命科学・医学系の研究(※1)**ですか？

Yes
⇒

教員(注)、大学院生(特別支援教育特別専攻科生)ですか？

(注)名誉教授も含まれます。
なお、非常勤講師の方は審査の対象外となります。

Yes
⇒

倫理審査を受けてください。

その研究は、次のいずれかに該当しますか？

●被験者に**精神的・身体的苦痛および健康被害を与える恐れ(※2)**がある。

●学会発表や論文投稿、研究費申請等で倫理審査が要求されている。

Yes
⇒

No ↓

No ↓ (学部生の場合)

申請の必要はありません。

倫理審査を受けてください。
なお、学部生の研究については、指導教員が当該学生への研究倫理教育を徹底してください。また、倫理審査申請書等の提出に際しては、内容の不備や誤字等を責任を持って確認した上で、申請書の所属長欄に指導教員が自ら入力し、研究協力係に提出してください。

※1

人を対象として、以下のアまたはイを目的として実施される活動

ア 次の①～④のいずれかを通じて、国民の健康保持増進または患者の傷病からの回復、もしくは生活の質の向上に関する知識を得ること。

- ①傷病の成因(健康に関する様々な事象の頻度および分布、それらに影響を与える要因を含む。)の理解
- ②病態の理解
- ③傷病の予防方法の改善または有効性の検証
- ④医療における診断方法および治療方法の改善または有効性の検証

イ 人由来の試料・情報を用いて、ヒトゲノムおよび遺伝子の構造または機能、遺伝子の変異または発現に関する知識を得ること。

※2

- ・被験者の同意、協力を必要とするもの
- ・個人情報取り扱いの配慮を必要とするもの
(記名式のアンケートや回答内容により個人が特定される調査や録画、録音されたものも含む)
- ・生命倫理、安全対策に対する取組を必要とするもの
- ・長期間、長時間にわたる拘束が発生する
- ・何らかの不利益が生じる恐れがある